

IoT 化技術とサービス『obniz』を展開する 株式会社 obniz シリーズAラウンドで約 2.1 億円を調達



株式会社 obniz(本社:東京都豊島区/代表取締役:佐藤雄紀 | 以下、当社)はこの度、株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ、三菱UFJキャピタル株式会社、及び西武しんきんキャピタル株式会社を引受先とする第三者割当増資により、総額約2.1億円の資金調達を実施しました。この資金調達により、シードラウンドからの累計調達は約3億円となります。

IoT 化を迅速かつ低価格で実現・推進する『obniz』

IoT 開発の過程では、ハードウェアやファームウェア、ネットワーク、クラウドの各設計、及び環境構築にてそれぞれ異なる専門的知見とプログラミング言語が必要です。加えて、開発効率化の観点から高性能 CPU が用いられるため、IoT 開発の難易度とコストはさらに高くなります。知識や技術を持つ開発者の絶対数が不足している昨今の状況下で、IoT 開発に求められる条件の多さや複雑さは IoT 普及のボトルネックとなっています。

当社はこれらの課題を解決するために、独自の「ファームウェアレス技術」である『obniz』を開発しました。他社技術との大きな違いは、マイコンでありながら高性能 CPU に類似する開発を可能にした点にあります。

この技術を基に、2018年4月に IoT 用のコントロールボード『obniz Board』の発売を開始して以来、各種製品やサービスを展開し、公式製品の契約数は2020年11月に1万件を突破しました。

2019年12月には、BLE(Bluetooth Low Energy)デバイスとネットワークの接続や、情報取得と管理を容易にする『obnizBLE ゲートウェイ』を商品化し、建設・医療・介護・教育・観光などの産業分野での IoT 化推進、ならびにモニタリング領域の業務に役立てられています。

『obniz』の開発をさらに加速し、体制強化へ

今回調達した資金は、『obniz』の技術開発やプラットフォーム機能強化を加速するための先行投資に充てることで、産業用途を中心に急増する IoT 需要に十分対応できる体制を構築していきます。また、『obniz』ブランドで展開する製品やサービスの認知向上のマーケティングなど、事業を成長させるための投資も併せて行う予定です。

ニュースリリースに関する
お問合せ

株式会社 obniz
PR 担当: アン
pr@obniz.com

〒171-0022
東京都豊島区南池袋2-28-14
大和証券池袋ビル 7階
TEL: 03-6912-7768

株式会社 obniz [2021年3月1日に株式会社 CambrianRobotics より社名変更]

「IoT」(Internet of Things) =モノのインターネットの時代を先見し、2014年に創業。複雑なプログラムや回路の開発を不要にし、インターネット上で対象物の管理や解析、遠隔操作を可能にする、最速で低価格な『obniz(オブナイズ)』シリーズを展開しています。

『obniz』の製品やサービスは、DIY と呼ばれる個人での自由なモノづくりはもちろん、医療や介護現場、建設業や宿泊施設、教育分野など、既に幅広い領域で活用されています。

共同創業者そしてエンジニアでもある佐藤雄紀と木戸康平を中心に、私たちはこれからも「IoT」の技術を進化させ、社会へと貢献する製品とサービスを広く皆様へご提供します。

<製品事例>



obniz Board
(オブナイズ ボード)



obniz BLE/Wi-Fi
ゲートウェイ



obnizOS
(オブナイズ オーエス)

■社名	株式会社 obniz
■代表者	代表取締役社長 佐藤雄紀(さとうゆうき)
■本社所在地	東京都豊島区南池袋 2-28-14 大和証券池袋ビル 7階
■創業	2014年11月
■資本金	225百万円(資本準備金含む) ※2021年1月末時点
■事業内容	-ハードウェアクラウドサービスの提供 -電子基板『obniz Board』の製造販売
■特許	特許 6439954 特願 2018-208745

<こちらのニュースリリースならびに、株式会社 obniz に関するお問合せ先>

obniz

株式会社 obniz PR担当:アン
pr@obniz.com
<https://obniz.com/ja/>